

ボイラーの水管理（小型貫流・中型ボイラーユーザーのための水管理）

第1版第2刷（平成28年1月20発行）

正誤表

上から↑、下から↓

2024年4月17日現在

頁	行・他	誤	正
19	↓8	<p>これに酸又はアルカリを加えると、水素イオン（H<sup>+</sup>）濃度が増減する。この溶液の水素イオン濃度を示す指標としてpHが使われるが、これは次のように水素イオン濃度を常用対数の逆数として定義したものである。</p> $\text{pH} = 1 / \log[\text{H}^+] = - \log[\text{H}^+]$ <p>さらに、水素イオン（H<sup>+</sup>）と水酸化物イオン（OH<sup>-</sup>）の間には25℃では次の関係が成り立っており、アルカリを加えるとOH<sup>-</sup>が増えるが、その分だけH<sup>+</sup>が減る。</p> $[\text{H}^+] \times [\text{OH}^-] = 10^{-14}$ <p>※[ ]はモル濃度（mol/L）を示す。</p>	<p>これに酸又はアルカリを加えると、水素イオン（H<sup>+</sup>）濃度が増減する。この溶液の水素イオン濃度を示す指標としてpHが使われるが、これは次のように水素イオンのモル濃度の逆数の常用対数として定義したものである。</p> $\text{pH} = \log (1 / [\text{H}^+] ) = - \log[\text{H}^+]$ <p>※[ ]はモル濃度（mol/L）を示す。</p> <p>さらに、水素イオン（H<sup>+</sup>）と水酸化物イオン（OH<sup>-</sup>）の間には25℃では次の関係が成り立っており、アルカリを加えるとOH<sup>-</sup>が増えるが、その分だけH<sup>+</sup>が減る。</p> $[\text{H}^+] \times [\text{OH}^-] = 10^{-14}$
24	表 2.7 定義	酸性・アルカリ性の強さの指標。水素イオン濃度の常用対数の逆数	酸性・アルカリ性の強さの指標。水素イオン濃度の逆数の常用対数
35	↓4	…四酸化二鉄（Ⅲ）鉄（Ⅱ）（Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub> （マグネタイト））が生じる。	…酸化鉄（Ⅱ,Ⅲ）（Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub> （マグネタイト））が生じる。
35	↓12	$1/2\text{O}_2 + \text{H}_2\text{O} + \text{e}^- \rightarrow 2\text{OH}^-$ <p style="text-align: center;">(3.8)</p>	$1/2\text{O}_2 + \text{H}_2\text{O} + 2\text{e}^- \rightarrow 2\text{OH}^-$ <p style="text-align: center;">(3.8)</p>
36	↑2	四酸化二鉄（Ⅲ）鉄（Ⅱ）は水に極めて溶けにくいため、…	酸化鉄（Ⅱ,Ⅲ）は水に極めて溶けにくいため、…
36	↑3	…緻密な四酸化二鉄（Ⅲ）鉄（Ⅱ）の保護被膜が生成され、…	…緻密な酸化鉄（Ⅱ,Ⅲ）の保護被膜が生成され、…
36	↓8	しかし、水のpHが低ければ、四酸化二鉄（Ⅲ）鉄（Ⅱ）の生成以前に…	しかし、水のpHが低ければ、酸化鉄（Ⅱ,Ⅲ）の生成以前に…
36	↓9	…式（3.6）のように溶解し、四酸化二鉄（Ⅲ）鉄（Ⅱ）も安定でなくなる。	…式（3.6）のように溶解し、酸化鉄（Ⅱ,Ⅲ）も安定でなくなる。
36	↓10	…緻密な四酸化二鉄（Ⅲ）鉄（Ⅱ）の被膜は生成されず、…	…緻密な酸化鉄（Ⅱ,Ⅲ）の被膜は生成されず、…
37	図 3.2	$1/2\text{O}_2 + \text{H}_2\text{O} + \text{e}^- \rightarrow 2\text{OH}^-$	$1/2\text{O}_2 + \text{H}_2\text{O} + 2\text{e}^- \rightarrow 2\text{OH}^-$
41	表 3.1 7行目	四酸化二鉄（Ⅲ）鉄（Ⅱ）（マグネタイト）：Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> ・FeO	酸化鉄（Ⅱ,Ⅲ）：（マグネタイト）Fe <sub>3</sub> O <sub>4</sub>